



令和7年度 学校経営計画 府中市立府中第一小学校 0409版

府中市立府中第一小学校 統括校長 宮内 和夫

教育活動推進テーマ 「笑顔あふれるみんなの学校～認めて・ほめて・励まし・育てる」

教育活動スローガン 【一小ABC:Aあたり前のことを Bばかにせず Cちゃんとやる】

1 学校経営目標

府中市立府中第一小学校は、第3次府中市学校教育プランの目指す人間像

【人権感覚と規範意識】他者も自分も大切にする、思いやりと規範意識のある人

【社会的な資質・能力】社会の一員としての自覚を持ち、社会に貢献しようとする人、

【確かな学力】自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人 を受けて、本校の教育環境と協力的で温かな地域、学区内の自然環境や文化的環境を十分に生かし、小学校教育の目的である日常生活に必要な基礎学力の定着と望ましい人間関係や自主及び自律の精神を育む教育活動を推進する。そして、府中版コミュニティ・スクールの機能を活用し、保護者・地域から信頼される学校づくりを教育活動推進テーマ「笑顔あふれるみんなの学校～認めて・ほめて・励まし・育てる」、教育活動スローガン「一小ABC:Aあたり前のことを Bばかにせずに Cちゃんとやる」の下、進めていく。

2 学校経営目標を達成するための基本的な考え方

(1) 学校の教育目標

人権尊重の精神とともに、責任と協力を重んじ、適切な判断力と創造性に富んだ情操豊かで自主的健康的な児童の育成を行うため、次の通り学校の目標とこれを踏まえて育成を目指す資質・能力を設定する。

【 】内は目指す資質・能力。

○よく考える子

【課題発見・対応力】

○なかよくたすけあう子

【協働して物事をやり抜く実践力】

○つよいからだの子

【心身ともに健やかでやり抜く力】

○心ゆたかな子

【人間関係形成力】

(2) 目指す学校像

学校の教育活動は子供たちのためにある。「それは子供たちの学びと育ちに必要か？」を第一の判断基準軸として教職員が一致協力し、教育課程を編成・実施していく。子供にとっても保護者にとっても、地域にとっても、所属職員にとっても信頼と誇りのもてる学校づくりを進める。二者間の「WIN-WIN」ではなく、「売り手（教職員）良し、買い手（子供・保護者）良し、世間（地域）良しの三方良し」を目指す。以下に、目指す学校像の姿、3点を示す。

- ① 安全・安心・快適な学校～相手意識に立った迅速・丁寧な対応～
- ② 所属職員が切磋琢磨し高め合う学校
- ③ 地域・保護者と連携協力する学校

3 中期的目標と今年度の重点及び方策

●中期的目標

(1) 安全・安心・快適な学校 ～相手意識に立った迅速・丁寧な対応	(2) 所属職員が切磋琢磨し 高め合う学校	(3) 地域・保護者と 連携協力する学校
① 子供の心身のケアに教職員が一致 団結して取り組む。	① 授業改善に取り組む教師	① 学校と家庭と地域が協力して子供 を育てる。
② 子供の人権が守られる学校環境づく りを推進する。	② 子供の気持ちに寄り添う指導	② 保護者・地域に学校の様子を伝え ていく。
③ 基本的生活習慣の育成及び定着を 推進する。	③ 各主任を中心にしたチームとしての 対応・情報の共有化	③ 府中版コミュニティスクールの更な る発展を図る。
④ 危機管理を徹底する。	④ 学年会や校務分掌を中心としたOJT の充実と学校の運営組織力向上	④ わかば鼓笛隊活動やけやき並木 保全プロジェクト、グリーンキーパ ー連絡会（芝生活用）の更なる充 実を図る。
	⑤ 働き方改革推進やカスタマーハラス メント（都条例）に準拠し、適切な教育 活動を日々行うために教職員の心理 的安全性を担保していく。	

●今年度の重点及び方策

(1) 安全・安心・快適な学校 ～相手意識に立った迅速・丁寧な対応～

「目をかけ、声をかけ、心をかけて育てる」

①子供の心身のケアに教職員が一致団結して取り組む。

◇子供の情報の共有化(マイナス情報だけでなく、「イイね!」の共有。職員室での子供自慢。)

◇心の健康観察の定期的な実施、結果の活用

◇登校渋りが始まった際にできるだけ速やかに管理職を含めて情報共有し学校・保護者と相談しながら適切な対応を取っていく。定期的に学年別の不登校対策委員会を開催し、情報共有だけでなく今後の対策計画や対策改善を検討していく。

◇家族の問題や医療や福祉的な問題を抱えた案件には外部機関や市教委との連携をより一層進めていき、子供第一の対応に取り組む。

②子どもの人権が守られる学校環境づくりを推進する。

◇安心して登校できる学級づくりを進める ◇いじめ、登校渋り、不登校への適切な対応

◇規範意識の育成及び定着 ◇服務事故防止の徹底(凡事徹底)

◎サポートルームの適切な運営

～登校渋りが始まった際に速やかに管理職を含めて情報共有し学校・保護者と相談しながらその時点で最適な対応を取っていく。

③基本的生活習慣の育成及び定着を推進する。

◇【一小ABC】5つの重点:挨拶、返事、廊下歩行、整理整頓、丁寧な清掃

◇早寝、早起き、ノースクリーンデーの取組

④危機管理を徹底する。～悪い情報(学校に危機的なこと)ほど速く管理職に伝わる組織。

◇オン・ザ・フライ・ミーティングの活用 「とりあえず」「一報」「ちょっと気になることが・・・」

◇報告、連絡、相談、記録(報連相記)を日常的に行う。毎週金曜日の生活指導夕会での情報共有や生活生活指導主幹などから夕会時にいじめミニ研修を実施させるなど、より組織的な生活指導の充実を目指す。

【一小プライド】「愛と情熱、敬意と誠意」をもって職務に臨む

①授業改善に取り組む教師

- ◇学習指導要領に示されている主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- ◇体験的、課題解決的な学習の充実
- ◇子供が主体的に選択・判断する教育活動の充実
- ◇府中市教育委員会より示されている義務教育 9 年間の系統的・継続的な取組により、特に重視して育成を目指す資質・能力「課題を発見し、課題解決に主体的に向き合い、自ら考えを形成するとともに他者と協働しながら合意形成を図り、よりよい自己を実現する力」を育成するために以下の 4 つの視点を教育活動に取り入れて実施していく。
 - 発見すること(意欲・好奇心・課題発見力等) ○対話すること(コミュニケーション力・多様性等)
 - 決定すること(自己調整力・批判的思考力等) ○表現すること(実行力・表現力・責任感等)
- ◇道徳交換授業や教科単元の交換授業を計画・実施し、指導力向上や児童理解を深めていく手段とする。
- ◇学期ごとの授業観察において、より効果的な教員相互の授業参観体制が実施できるように教員個々の授業改善への意欲を大切にしていく。

②子供の気持ちに寄り添う指導

- ◇心情的共感と客観的事実についての指導を行う。
- ◇熱心な無理解者になっていないか常に自己の指導を振り返る。
- ◇全教職員で 6 年生のリーダー性を伸ばしていく。子供の自発性を尊重した意図的・計画的な年間を通したわかば鼓笛隊の指導・支援を音楽専科や高学年担任を中心に行う。委員会・クラブでの指導・支援の充実を各担当教員が意図的に行う。縦割り班活動(新規)において、リーダーシップの醸成、互いに違いを認め合い尊重し合う態度を育成する。

③各主任を中心にしたチームとしての対応・情報の共有化

- ◇リーダーシップとフォロワーシップ 「チームのために自分は何ができるか」

◇個人最適(独善的)ではなく、全体最適の視点で思考し行動する。同僚性の更なる醸成。

④OJTの充実と学校の運営組織力向上

◇学年会、専科会、学校運営組織がOJTであるという意識醸成。

◇学年副主任や分掌副主任ポスト、分掌のW主任制の良さを生かした効果的な運営管理を行わせていく。

◇企画会での学年・専科主任育成とOJT研修会での個人の能力・資質育成と組織貢献力向上を図る。

◇ミドルリーダーの育成を主幹教諭・指導教諭が意図的・計画的に進めていく。

◇教育課題対応や現教職員構成で、より効果的な教育活動ができるように最適な分掌組織を副校長・主幹に単年度単位で検討をさせていく。

⑤働き方改革推進やカスタマーハラスメント(都条例)に準拠し、適切な教育活動を日々行うために教職員の心理的安全性を担保していく。

◇出退勤の適切な管理。「かえるボード」による退勤時刻を意識して逆算をする働き方を進める。

◇デジタル文書回覧や文書決裁を活用して会議減を図り、勤務時間内に個々が活用できる時間を増やす。

(3) 地域・保護者と連携協力する学校

「売り手(教職員)良し、買い手(子供・保護者)良し、

世間(地域)良しの三方良し」

①学校と家庭と地域が協力して子供を育てる

◇保護者会や学校行事、地域行事、スクールコミュニティ(SC)協議会、わかば鼓笛隊活動、

グリーンキーパー連絡会、けやき並木保全プロジェクトの利活用

◇SC協議会を学校の行事や授業公開時に設定し、参観後に学校経営に関するご意見をいただく場とする。

◇学級担任だけでなく全教職員が「府中第一小学校いじめ防止基本方針」について保護者に説明ができるようにする。

②保護者・地域に学校の様子を伝え、保護者・地域から子供たちの善行を知らせてもらう双方向性を指向する。

◇学校便り、学年便り(学年の窓)、学級通信、ホームページによる啓発

◇PTA本部会の活用、SC協議会、保護者会 ◇学校HPやスマート連絡帳の更なる活用

◇全校朝会時に保護者・地域から寄せられた子供たちの善行を紹介し、自分が府中第一小学校の一員であることに誇り(プライド)をもてるようにしていく。

③府中版コミュニティスクールの更なる発展を図る。

◇SC協議会を学校の行事や授業公開時に設定し、参観後に学校経営に関する具体的なお意見をいただいていく。想定として6年生を送る会では1年生から6年生への育ちを見てもらい、子供たちの良さを改めて感じてもらうなど、わかば鼓笛隊以外の子供たちの学年に応じた育ちも積極的にアピールしていく。

④地域人材・資源活用 地域コーディネーターを中心に以下の活動を推進していく。

◇学校支援ボランティア活動

図書修理・月例の全クラス読み聞かせ・家庭科のミシン操作・安全パトロール・芝生・園芸などのボランティア活動に保護者を中心に参加していただき、地域・保護者から学校教育を支えていただく。

◇持続可能な社会の創り手となる資質・能力を育む教育を地域人材や資源等を有効に活用して推進する。

◇東京デフリンピック 2025 開催と関連した全校での手話の取組み、けやき並木保全プロジェクトや「未来へつなぐ府中 2020 レガシー」、「けやきタイム」の授業と関連して教育活動の充実を図る

◇ふるさと文化財課施策である小中高連携事業「けやき並木保全プロジェクト」は環境委員会児童活動のみならず、全校朝会や授業を活用して全校で学び、保護者や地域へ発信するなどの学習材としていく。

(4) その他、第3次府中市学校教育プラン・教育施策等との関連

①特別支援教育の充実

◇環境調整によって軽減される特性に着目し、多様な環境調整に関しても学び・実践していく必要がある。

◇専門性の向上。ICT 機器を活用した授業改善。特別支援教室における指導の充実。関係機関との連携。

◇レベル 1, 2, 3 に準拠した指導・支援を組織的に進める。 ◇副籍交流(直接・間接)の計画的な実施

②「未来へつなぐ府中2020レガシー」の推進

◇ふるさと教育のさらなる充実、SDGs学習の継続・発展、きょうだい学年を活用したポッド苗植え活動

◇けやき並木保全活動:SDGs の実現に向け身近な環境に主体的に関わろうとする態度を育てる。

③英語教育の充実

◇ALTの授業以外での効果的な活用の工夫を進めるとともに、授業、TGGや「世界とつながる英語 Enjoy week」を関連付け、英語のコミュニケーションを図る機会の充実

④小中連携・一貫教育の推進

◇府中第一中学区における目指す子供像と育成・醸成すべき力を共有して9年間の「学び」と「育ち」の充実を図る。分科会においては教材研究を共通テーマとして行っていく。

◇R7 年度は都教委施策「デジタルを活用したこれからの学び」に関して府中第一中学校区3校で取り組み、開発委員作成の授業プラン検証を行っていく。

4 R6 年度の数値目標:関係者評価(①児童・②保護者)と自己評価(③教員)

【R6 年度は質問事項の変更に向けた移行期間】

【①児童 1010 名(1~6年) ②保護者286名(家庭数813) ③教員43名】

(1) 学校生活について ①②③肯定的評価 85%以上 ※アンダーラインは達成できなかった項目

設問 1				設問 2			
①先生は、分かりやすく教えてくれる ②本校の教職員は子供たちに学習の基礎基本が定着するように努めている ③子供たちに学習の基礎・基本が定着するよう努めている。				①先生たちはあいさつやきまりをきちんと教えてくれる ②本校の教職員は挨拶や社会のルールを適切に指導している ③>あいさつや社会のルールを適切に指導している。			
	肯定的評価	否定的評価			肯定的評価	否定的評価	
児童	94%	6%		児童	95%	5%	
保護者	95%	5%		保護者	94%	6%	
教員	100%	0%		教員	95%	5%	
設問 3				設問 4			
①先生たちは相談や質問に丁寧に答えてくれる ②本校の教職員は相談事や問い合わせに適切に対応している(電話・連絡等) ③相談ごとや問い合わせに適切に対応をしている。(電話、連絡等)				①府中一小は特色があって、よい学校だと思う ②学校は特色があって誇れる良い学校だと思う ③特色があって 誇れる良い学校だと思う。			
	肯定的評価	否定的評価			肯定的評価	否定的評価	
児童	88%	12%		児童	92%	8%	
保護者	92%	8%		保護者	92%	8%	
教員	98%	2%		教員	93%	7%	
設問 5				設問 6			
①係活動や当番活動にすすんで取り組んでいる				① <u>おたよりや勉強道具などを忘れないようにしている</u>			
	肯定的評価	否定的評価			肯定的評価	否定的評価	

児童	90%	10%		児童	84%	16%	
保護者	—	—		保護者	—	—	
教員	—	—		教員	—	—	
設問7 ①友達と仲良くしたり、協力したりしている ②学校は自分も他の人も互いを大切にする心を育んでいる。(人権教育) ③自分も他の人も互いを大切にする心を育んでいる。(人権教育)				設問8 ①友達を大切にした言葉遣いや呼び方をしている			
	肯定的評価	否定的評価			肯定的評価	否定的評価	
児童	94%	6%		児童	88%	12%	
保護者	88%	12%		保護者	—	—	
教員	100%	0%		教員	—	—	
設問9 ①漢字や計算の練習をよくしている				設問10 ①先生や友達にすすんであいさつをしている。			
	肯定的評価	否定的評価			肯定的評価	否定的評価	
児童	78%	22%		児童	85%	15%	
保護者	—	—		保護者	—	—	
教員	—	—		教員	—	—	
設問11 ①学校のきまりややくそくをきちんと守っている							
	肯定的評価	否定的評価					
児童	90%	10%					
保護者	—	—					
教員	—	—					

(2) 家庭での生活や学校に来るとき ①②③肯定的評価 85%以上 ※アンダーラインは達成できなかった項目

設問12 ※R7 年度重要課題 ①学校に来ることがたのしい ②お子さんは楽しそうに学校に通っている ③子供たちが楽しく学校生活を送れるよう工夫して指導し、その結果楽しく学校生活を送ることが出来ている。				設問13 ①家でも勉強をしている(宿題を入れて:学年×10分) ②お子さんは家庭学習をしている。(宿題を入れて:学年×10分) ③子供たちが意欲をもって家庭学習に取り組める工夫をしている。(宿題を含め10分×学年ぐらいの時間)			
	肯定的評価	否定的評価			肯定的評価	否定的評価	
児童	80%	20%		児童	82%	18%	
保護者	91%	9%		保護者	82%	18%	
教員	96%	4%		教員	96%	4%	
設問14 ①自分の安全は自分で守ろうとしている ②お子さんは安全に気をつけている(交通事故、不審者など) ③子供たちが自分の安全は自分で守り生活できるように指導している。(交通事故、不審者対応等)				設問15 ①あいさつをきちんとしている ②お子さんは家でもきちんとしたあいさつができる。			
	肯定的評価	否定的評価			肯定的評価	否定的評価	
児童	96%	4%		児童	88%	12%	
保護者	92%	8%		保護者	80%	20%	

教員	96%	4%		教員	—	—	
設問16 ①家でも読書をしている ②お子さんは家でも読書をしている				設問17 ①相手を大切にした言葉遣いや丁寧な言い方をしている ②お子さんは相手を大切にした言葉遣いをしている			
	肯定的評価	否定的評価			肯定的評価	否定的評価	
児童	72%	28%		児童	83%	17%	
保護者	57%	43%		保護者	76%	24%	
教員	—	—		教員	—	—	
設問18 ①家で学校のできごとや友達のことを話す ②お子さんは家で学校の出来事や友達のことを話す							
	肯定的評価	否定的評価					
児童	83%	17%					
保護者	82%	18%					
教員	—	—					

(3) 学校運営 ②③肯定的評価 85%以上 ※アンダーラインは達成できなかった項目

設問19 ②学校は保護者や地域に教育の方針を分かりやすく伝えている ③保護者や地域に教育の方針を分かり易く伝えている。				設問20 ②学校は保護者や地域と協力をして教育活動をすすめている ③保護者や地域と協力をして教育活動をすすめている。			
	肯定的評価	否定的評価			肯定的評価	否定的評価	
保護者	92%	8%		保護者	90%	10%	
教員	100%	0%		教員	100%	0%	
設問21 ②学校は教育活動の様子がわかるようにしている(学校公開、たより、HPなど) ① 教育活動の様子がわかるようにしている				設問22 ②学校は健康や安全に気をつける指導をしている ③健康や安全に気をつける指導をしている。			
	肯定的評価	否定的評価			肯定的評価	否定的評価	
保護者	96%	4%		保護者	95%	5%	
教員	98%	2%		教員	100%	0%	
設問23 ②本校教職員は子供の能力や努力を適切に評価している ③子供の能力や努力を適切に評価している				設問24 ② 本校の教職員は一人一人の子供のよさを認め励ますなど大切にしている ③一人一人の子供のよさを認め励ます等大切にしている			
	肯定的評価	否定的評価			肯定的評価	否定的評価	
保護者	94%	6%		保護者	94%	6%	
教員	98%	2%		教員	98%	2%	